

## H30 年度 学校研究の概要

### 1 研究主題 主体的に考え、学びを深める児童の育成を目指して

～「根拠を明確に表現できる」授業づくり～

### 2 主題設定の理由

本校では、教育目標の「心身ともに健康で、主体的・創造的な児童の育成」をうけ、「主体的に考え、学びを深める児童の育成を目指して」を研究主題とし、昨年度は「交流を大切にする」授業づくりを目指してきた。表現行動の基本をつくる国語科を研究の中心に掲げ、単元の見通しと振り返りを活かして、主体的な学びができる授業を目指すこと、自分の考えを話し合い・聴き合う言語活動を重視することを研究の重点として取り組んだ。成果としては、児童自らが学習の仕方を考え、学習計画を立てることなどを通して、主体的に学習へと取り組む姿が見られるようになってきた。

一方、昨年度の学力調査の結果を分析すると、本校児童は学習用語を使った記述や条件に合った記述、問題文の理解などが不十分という課題が見られた。また、授業においては交流で自分の考えを表現しても、互いの考えから学びを深め合うまでには至っていないということが感じられた。その原因としては、自分の考えに対する明確な根拠を持っていないために、自分と友達の考えを比較したり、友達の考えについて問い返したりということができないことが挙げられる。

そこで本年度は、算数科を中心とし「根拠を明確に表現できる」授業づくりを目指すこととした。既習の知識から必要な情報を選択したり、学習用語を用いたりしながら根拠を明確に持ち、それを表現し合うなかで友達との考えの違いに気づき、さらに自分の考えを深めることができる児童の育成に取り組んでいくこととし、本主題および副題を設定した。

### 3 研究の内容

#### (1) 算数科を中心とした授業づくり

- ア 児童に使わせたい用語を、教師自身が明確にイメージしてから授業に臨む。
- イ 使わせたい用語を提示したり必要な既習を確認したり、解決の手立てとなる時間を確保する。
- ウ 学習用語を使って根拠を記述させたり説明させたりし、根拠を明確に表現させる。
- エ 考えのわけや、数の意味を児童に繰り返し問うことで、理由を考える習慣を身に付けさせる。
- オ 学年間の系統性を把握し、他学年でも活用する指導事項は確実に習得させる。

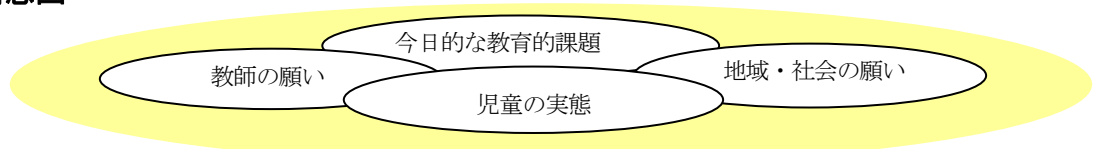
#### (2) 全教科における学習基盤づくり

- ア 既習の掲示や振り返りやすいノートの指導を通して、学習したことを活用できるようにさせる。
- イ 題意や条件を正しく読み取らせるために、キーワードに全校共通した線を引かせる。
- ウ 校内共通の「家庭学習の手引き」を配布し、家庭学習に取り組む習慣を身に付けさせることによって、学習内容の定着を図る。

#### (3) 校内研修の充実

- ア 指導案検討、模擬授業、研究授業、整理会を毎月行うことで、全職員の指導力向上を図る。
- イ 研究授業後には反省をふまえて、全校での共通した取り組み目標を決める。

#### 4 研究構想図



教育目標：心身ともに健康で，主体的・創造的な児童の育成

##### 学校像

児童一人一人が『わかった・できた』喜びを感じ、安心して通うことのできる学校  
地域住民や保護者が『協力・応援』したいと思う学校  
児童や保護者，教職員が信頼と誇りをもてる学校

##### 児童像

すすんで学ぶ子  
思いやりのある子  
たくましい子

研究主題： **主体的に考え，学びを深める児童の育成を目指して**

研究副題： **～「根拠を明確に表現できる」授業づくり～**

### 研究の内容

#### 授業づくり

- 教師自身の明確なイメージ
- 問題解決の手立ての確保
- 用語を使った根拠の明確化
- 「わけ」を問う習慣づくり
- 系統性の把握

#### 基盤づくり

- 既習を活用しやすい掲示やノート
- 題意や条件を読みとるスキル
- 「家庭学習の手引き」の活用

#### 校内研修の充実

- 具体的取り組みの共通理解
- 研究授業等の機会の充実
- 速やかな取り組みの修正

児童が安心して学習に臨むことができる学級づくり

保護者・小中連携による家庭学習の充実

## 5 研究計画

	全体研究計画	研究推進委員会
4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>研究主題および前期学力向上プランの確認</li> <li>研究の具体的取り組みの共通理解</li> <li>全国学力調査、県基礎学力調査、町学力調査の実施、自校採点、問題点の把握</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今年度の研究主題の設定</li> <li>前期学力向上プランの作成</li> <li>授業やノートにおける共通の取り組みの検討</li> <li>学習基盤、言語環境の取り組みの検討</li> <li>指導案様式の作成</li> <li>研修計画の設定</li> </ul>
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>提案授業の指導案事前検討および模擬授業</li> <li>指導主事計画訪問A 研究授業 6年算数（寺下）</li> <li>指導主事計画訪問全体会資料の検討</li> <li>児童のノートによる検証</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>模擬授業と整理会の方法について検討</li> <li>計画訪問後における共通の取り組みについて検討</li> </ul>
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>模擬授業と指導案検討</li> <li>研究授業 5年算数（下田）</li> <li>児童のノートによる検証</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>研究授業後における共通の取り組みについて検討</li> </ul>
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>模擬授業と指導案検討</li> <li>研究授業 4年算数（殿垣内）</li> <li>児童のノートによる検証</li> <li>活用・記述問題の実施・検証</li> <li>児童アンケートの実施・検証</li> <li>1学期実践についての振り返り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>研究授業後における共通の取り組みについて検討</li> <li>1学期研究についてのまとめ</li> <li>全国学力調査・県基礎学力調査の分析と考察</li> <li>夏季休業中の研修計画</li> </ul>
8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>中期学力向上プランの確認</li> <li>研究の具体的取り組みの共通理解</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中期学力向上プランの作成</li> <li>授業やノートにおける共通の取り組みの検討</li> <li>学習基盤、言語環境の取り組みの見直し</li> </ul>
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>模擬授業と指導案検討</li> <li>研究授業 3年算数（吉村）</li> <li>児童のノートによる検証</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>研究授業後における共通の取り組みについて検討</li> </ul>
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>提案授業の指導案事前検討および模擬授業</li> <li>指導主事計画訪問B 研究授業 1年算数（大隅）</li> <li>児童のノートによる検証</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画訪問後における共通の取り組みについて検討</li> </ul>
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>模擬授業と指導案検討</li> <li>町学力向上実践研究推進事業 研究発表 算数（全担任）</li> <li>児童のノートによる検証</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>発表後における共通の取り組みについて検討</li> </ul>

12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県評価問題 I の実施・分析</li> <li>・ 模擬授業と指導案検討</li> <li>・ 研究授業 6年算数 (寺下)</li> <li>・ 児童のノートによる検証</li> <li>・ 活用・記述問題の実施・検証</li> <li>・ 児童アンケートの実施・検証</li> <li>・ 2学期実践についての振り返り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研究授業後における共通の取り組みについて検討</li> <li>・ 県評価問題 I の考察</li> <li>・ 2学期研究についてのまとめ</li> <li>・ 後期学力向上プランの作成</li> <li>・ 授業やノートにおける共通の取り組みの検討</li> <li>・ 学習基盤、言語環境の取り組みの見直し</li> </ul>
1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 後期学力向上プランの確認</li> <li>・ 研究の具体的取り組みの共通理解</li> <li>・ 模擬授業と指導案検討</li> <li>・ 研究授業 4年算数 (殿垣内)</li> <li>・ 児童のノートによる検証</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研究授業後における共通の取り組みについて検討</li> </ul>
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 模擬授業と指導案検討</li> <li>・ 研究授業 2年算数 (吉村)</li> <li>・ 児童のノートによる検証</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研究授業後における共通の取り組みについて検討</li> </ul>
3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童のノートによる検証</li> <li>・ 活用・記述問題の実施・検証</li> <li>・ 児童アンケートの実施・検証</li> <li>・ 3学期実践についての振り返り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今年度の研究についてのまとめ</li> <li>・ 次年度学力向上プランの方向性について検討</li> </ul>

## 6 研究推進委員会の取組

○研究内容、方法の検討の他に、言語環境と学習基盤の充実を図る。

### 【言語環境の充実】

#### (1) 読書活動

- ・ 3つの取り組みを中心として読書に親しむ機会を増やし、読書の幅を広げたり語彙を増やしたりする。

	時	内容
①朝読書	毎朝 10 分間	自分で選んだ本を静かに読む。
②教師による読み聞かせ	毎月第 3 週 (読書週間)	朝読書の時間に、読み聞かせを行う。
③おすすめの本の紹介	隔月	本を紹介する文や絵をかき、掲示する。

#### (2) 詩や古典の朗読

- ・ 「音読の森」を帰りの会 (火、木) に朗読し、美しい文章や豊かな表現に親しむ。

#### (3) スピーチ

- ・ 日々の生活の中で見つけたことや感想などを帰りの会 (月、水、金) に発表し、伝える力をつける。

#### (4) 条件作文 (行事等について)

- ・ 学校行事の後、字数や書き出しなどの条件に沿った感想文を書くことで、思いを適切に表現する力を養う。

#### (5) 俳句作り

- ・ 隔月で俳句作りに取り組み掲示することで、短い言葉の中で思いを表現できる言語感覚を磨く。

## 【学習基盤の充実】

### (1) 自習タイム

- ・毎日 5 限前の 10 分間、国語、算数に絞って基礎基本に繰り返し取り組み、つまづきをなくして系統的に力を伸ばしていくことができるようにする。

### (2) 全校漢字・計算テスト

- ・学期末に漢字・計算の習熟度を確かめるテストや練習に取り組み、基礎基本の力を身に付ける。

### (3) 家庭学習

- ・自学ノートを活用しながら、【学年×10+10】分の家庭学習時間を取り組み目標とすることで、自分で学習する習慣を確立する。

### (4) 学習規律の定着

- ・全校共通の「うかわっ子学習ルール」を掲示し、基本的な学習規律を整える。

## 7 研究組織

